

第9回 日本カイロプラクティック・セミナー 参加者の声

11月に名古屋で開催された「第9回日本カイロプラクティックセミナー」で、実行委員会はセミナーに対するアンケートを行いました。そのときの参加者の意見を掲載いたします。

基調講演（上野正彦先生）

- ・医療人として真の人格者となるべく成長を続ける必要があると考えさせてもらいました。
- ・視診、問診、その他、診ることの重要性を再認識できた。
- ・情報収集の大切さを感じた。
- ・先生の講演でおっしゃった「死体は語る」の言葉に、臨床にかかわるものとしては、その言葉が「患者さんの痛みは語る」に聞こえてとてもためになりました。
- ・ユーモアあふれる軽快な語り口で興味深く聞くことができました。
- ・実際の例をまじえて、一方向からだけでなく、いろいろな面から見ることの大切さがわかりました。
- ・現状をしっかりと観察することを、改めて感じた。
- ・「診る」という表現の幅が広がりました。
- ・目に見えない物事を読み取るということは治療にもつながるように思えました。
- ・あるがままを受け入れる姿勢が大事ということがわかりました。
- ・非常にリアルな写真があり、迫力があつた。私たちも観察して状態を把握することが大切であると再認識した。
- ・患者さんの状態から原因を探る。そこが大切なんだと改めて感じた。そして、大切なのは「心」。カウンセリングを重視する仕事だけに、「心」も支えてあげられたいと思いました。
- ・今まで知らなかった視点から「生」を考えるきっかけになった。

臨床トリプルゼミ

- ・鈴木先生：早すぎてついていけないと思った。正確な触診、解剖学を私も身に着けないといけないと思いました。田中先生：患者さんに対する接し方、症状を取り除くために、自分がこれから何を勉強していけば良いか、ヒントをもらったような気がします。佐々木先生：実際に治療を体験させてもらい楽になってしまいました。
- ・3人の先生方が日常臨床でどのようなことを考え、どのように治療しているかを見ることができよかったと思う。
- ・最初にデモを行うことで、本来のセミナーに興味を持ちやすかった。
- ・各人の着目点がかいまみれたがわかりにくかったです。
- ・2日目の各論のつかみとしては、興味をひきつけるものでした。
- ・初日に少しやっておくと、その晩などにいろいろ感じ、話し合いながら翌日に移行できたので大変良かった。
- ・解説があつたからこそ良かった。
- ・臨床に使えることが多かった。
- ・まだ難しいところがあつたので勉強します。
- ・衝撃の一言でした。でも目指したいです。目指します！！
- ・検査法の選択基準、検査の判定、どこにアプローチしたのか、関節か、筋肉か、神経か、いろいろよくわからなかった。

- ・実技の点ではもう少し解説がほしかった。
- ・速すぎて多くは何をやっているのか、理解できていないと思う。

特別講話（江崎健三氏）

- ・シビアな現状が少しわかった気がします。
- ・話の要点がわかりにくかった。JSCに対しては問題提起だったであろう。今後の取り組み方を考える必要性。
- ・カイロ界の現状と将来について、考えさせられるものでした。これから何をやらなければならないかが少し見えてきた。
- ・カイロを取り巻く環境が変化してきていることがわかり、参考になりました。
- ・カイロプラクティックを知ってもらうこと、受けてみたい人を作ること。マーケットの開拓は「ターゲットを絞って」。参考にします。

ワークショップ1（鈴木先生）

- ・すごい技ですね。
- ・明日からすぐ使える。
- ・ベーシックの大切さ、情熱を持って物事に取り組むことの大切さが伝わってきた。
- ・全体との関連の話があればもっと良かったです。
- ・瞬殺のテクニックでした。やいやい言う前に実践してみます。
- ・いろいろ検査、情報からどのようにアプローチして行けばよいか、実際の治療に沿った形が見ることができてよかった。
- ・すぐに使えると言うところが大変良かった。実際に練習する時間もたっぷり取っていただいたので、非常に良かった。
- ・一見、簡単そうに見える手技ですが、症状を解消する流れに感動した。
- ・触診のやり方、施術、すばらしかったです。
- ・感じることの重要性
- ・ふらつきの導入として、側頭骨へのアプローチをすることが改善への道ということがわかった。
- ・秒殺テクニックは衝撃でした。興味深く見せていただきました。
- ・触診、しっかりコンタクトできるように勉強してきます。
- ・実際、手技をしていただくことで、感覚を感じ取ることができた。トリプルゼミでもゆっくりしていただけたのでわかりやすかった。



ワークショップ2（田中先生）

- ・興味深く聞けた。
- ・予備知識がなかったので理解しづらい部分があった。
- ・生化学、生理学の勉強をしっかりとしてみようと思いました。
- ・単にそのときだけ痛みをとる治療や、「〇〇はだめですよ！」という指導ではない田中先生のやり方、お人柄を知ることができました。



- ・根本的なところを深く研究されていて、敬服いたしました。
- ・わかりにくい分野の集合体としての考えなので難しかった。
- ・説明と解説で素人にも理解しやすかった。2日間に症例やデモを入れて欲しかった。
- ・治療していく上で、基本的な物事が大切だと思いました。少し難しかったと思います。
- ・自分の知らない部分のことだったので、少し難しく感じた。
- ・治療で大切な考え方、化学反応に水が必要だということが、よくわかった。

ワークショップ3 (佐々木先生)

- ・さまざまな視点からのアプローチが必要だと思う。
- ・T.L、MMTのあまりの速さにびっくりしました。
- ・大変素晴らしい治療を見ることができたのですが、うまく解説していただけるともっと良かったです。
- ・T.L、筋力テストの使い方が少しわかった。解説がたっぷりあれば大変良かった。
- ・解剖学の基礎がしっかりしていないといけないと反省させられた。



JSC、日本カイロセミナーに対する意見

- ・講師をされた先生方にコースセミナーをやってほしい。
- ・準会員であります。メールセミナーの受講、閲覧ができれば嬉しく思います。
 - ・研究会的なので、前のように2年に1度でこれはという目玉になるような来賓を招いてはいかがでしょうか。通常のセミナーと差別化がほしいところです。
- ・今、NCAの5年生ですが、大阪近くの学生を中心に7~8人の学生を中心に勉強会をしています。壁にぶつかると、皆、同程度のレベルなので先へ進まない。できれば講師の先生のご指導をお願いいたします。
- ・関西でのセミナーや勉強会を今後、開催してほしい。NCAのメンバーで自主的に勉強会をしているが、もう少し上のレベルで教えてもらいたいと思う。
- ・リリース系の技術ばかりで、アジャストメント系の技術がありませんでした。また、四肢、内臓、筋肉系のアプローチが多く、脊柱アプローチはほとんどありませんでした。理論も脊柱に触れるものがありませんでした。カイロとしては脊柱の内容を期待していました。何か意図があって、そのような内容にされたのでしょうか？
- ・こういう風に実際に治療しているというのを見せていただいて、良かったです。自分が勉強不足なのですが、もう少し、今何を検査しているのか、どう矯正しているのか、説明が多いとありがたいと思いました。
- ・今年のような形式で作り上げたセミナーは、参加者としてはいろいろな発想、視点の必要性を感じ取ることができるので、この形式をしばらく継続させた方が良いでしょう。

名古屋セミナー全体の感想

- ・南部先生、川島先生はじめ、スタッフの先生方の「セミナーを盛り上げる」という熱い思いが感じられ、全体に「いい場」となったと思います。
- ・忙しい中、スタッフの方々のおかげで有意義なときを持てたと思います。
- ・ワークショップを2日間していただければ良いなと思います。

- ・普段見ることのできない治療、聞けない話、会えない先生とお会いできて、大変有意義なセミナーでした。ありがとうございました。
- ・初めてのセミナー参加だったのですが、発表・説明とデモ・実演のバランスが少し片寄っていたようにも思えました。
- ・全体を通して、治療にすぐ使えるものもあり、基本的な解剖学、生理学の大切さ、MMTの大切さが良くわかり勉強になりました。
- ・新しい刺激が多く、パニック状態です。でも、また意識に刺激が入り、やる気が出ました。
- ・臨床の練習ができるようになって良かったと思います。
- ・今回、初参加でしたが、参加して大変良かったです。目指すところはかなり高くなりましたが、これからがんばって行きたいと思います。よろしくお願いいたします。
- ・会員の参加が少し少なかったようなので残念だが、一般の方の参加もあり、良かったと思います。
- ・会員外で参加できるセミナーが中部地区では少なく、今回、大変ありがたく思いました。今後も中部地区での企画をよろしくお願いいたします。
- ・自分たち以外のセミナーに参加させて頂いて、また、違った世界を見せていただいて、刺激になりました。ありがとうございました。
- ・今回はセミナー初参加でした。講師の先生方がそれぞれアプローチが異なるので、どれも興味深かったです。
- ・来て良かったです。悩んでいたのですが、本当に来て良かったです。ありがとうございました。皆さんの暖かい心遣いがひしひしと伝わり、心地良かったです。
- ・GOOD